

**【授業の到達目標および概要】**

望ましい学校保健のあり方・進め方について、現在かかえている学校保健の諸問題や課題を、学校教育との関連、学校保健組織活動、学校保健・安全計画、家庭・地域・職場との連携などの諸側面を通して明らかにし、国際的動向（ヘルシースクール、セーフティスクールなど）を視野に入れながら、それらの解決に向けて考究する。

**【授業計画】**

- ①② 健康の概念一定義、歴史的変遷、QOLとの関連、健康へのニーズと課題
- ③④ 学校保健の意義・目的・特質－学校保健の歴史的変遷、学校保健の領域・構造、学校教育と学校保健との関連及び法的規定、関連づけの実施状況と課題
- ⑤⑥ 学校保健活動の展開と運営－学校保健活動（組織活動）の領域、関係職員と役割、展開・運営の阻害・推進要因、実施状況と課題
- ⑦⑧ 学校保健・安全計画の立案－歴史的変遷、法的規定、立案の手順、立案の実情と課題、立案の実際（演習）
- ⑨⑩ 学校保健と地域保健、産業保健との関連－関連づけの歴史的推移、関連づけの実情と課題
- ⑪⑫ ヘルシースクールの構築・推進一定義、歴史的推移、諸外国・わが国の動向・実施状況、ヘルシースクールへの構築と推進の仕方
- ⑬～⑮ まとめ

**【授業外学習】**

授業内容に応じて、授業時に提示する論文及び文献の講読を行うか、授業終了時に提示する課題についてレポートを作成する。

**【成績評価の方法・基準】**

出席状況や学習態度、レポート提出により評価を行う。

**【教科書】**

随時、プリントを配布する。

**【参考書】**

「学校保健」：大津一義、門田新一郎、大学教育出版

**【教材】**

パワーポイントによるプレゼンテーションやプリントを配布する。

**【備考】**

一方的な教授でなく、学生や学生間の双方向を重視した授業を展開する。